

8. 地域と学校の連携・協働

(1) 地域と学校の連携・協働に対する考え

図 34 は、地域と学校の連携・協働に対する市民の考えをみたものである。

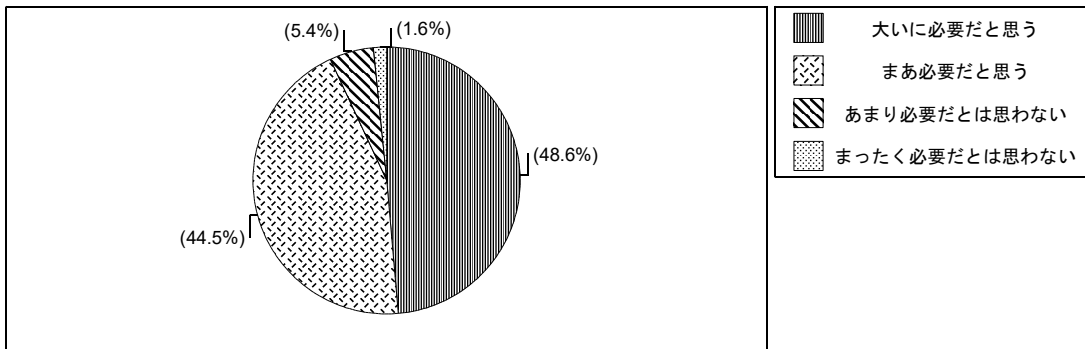


図 34 地域と学校の連携・協働に対する考え

その結果、48.6%の人が「大いに必要だと思う」と回答し、「まあ必要だと思う（44.5%）」をあわせると93.1%の人が「必要だと思う」と回答していた。

これを、性別にみたのが図 35 である。

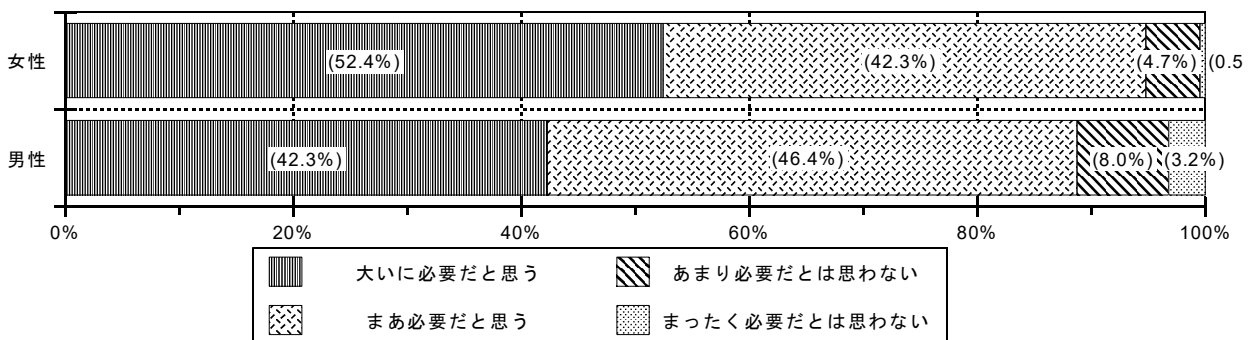


図 35 性別にみた地域と学校の連携・協働に対する考え

その結果、「必要だと思う（「大いに必要だと思う」＋「まあ必要だと思う」）」と回答した人の率は、「女性」で94.7%、「男性」で88.7%であり、明確な差は認められなかった。しかし「大いに必要だと思う」では「女性」の率が高くなっていた。

次に、年代別にみたのが図 36 である。

その結果、「必要だと思う（「大いに必要だと思う」＋「まあ必要だと思う」）」と回答した人の率は、「成人前期」の人で91.6%、「成人中期」の人で93.3%、「成人後期」の人で93.6%であり、明確な差は認められなかった。しかし「大いに必要だと思う」では「成人前期」の人の率が高くなっていた。

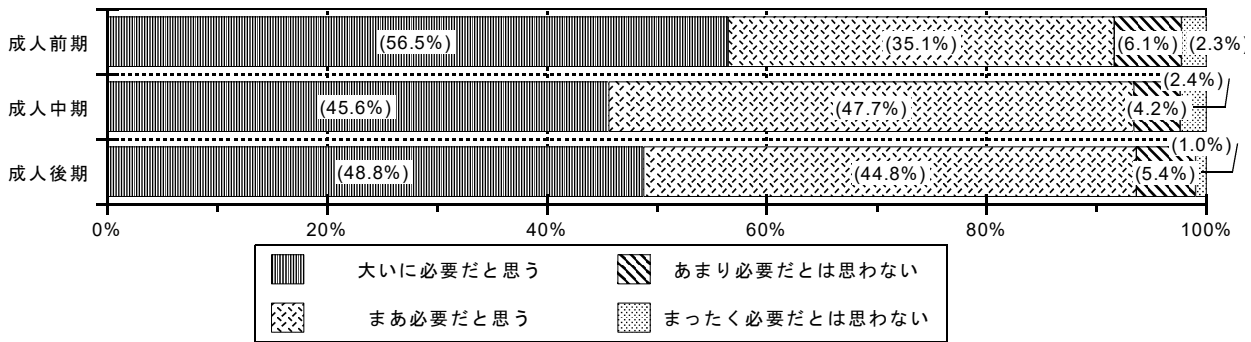


図 36 年代別にみた地域と学校の連携・協働に対する考え

(2) 必要な連携・協働の取り組み

図 37 は、市民が必要だと考える地域と学校の連携・協働の取組をみたものである。

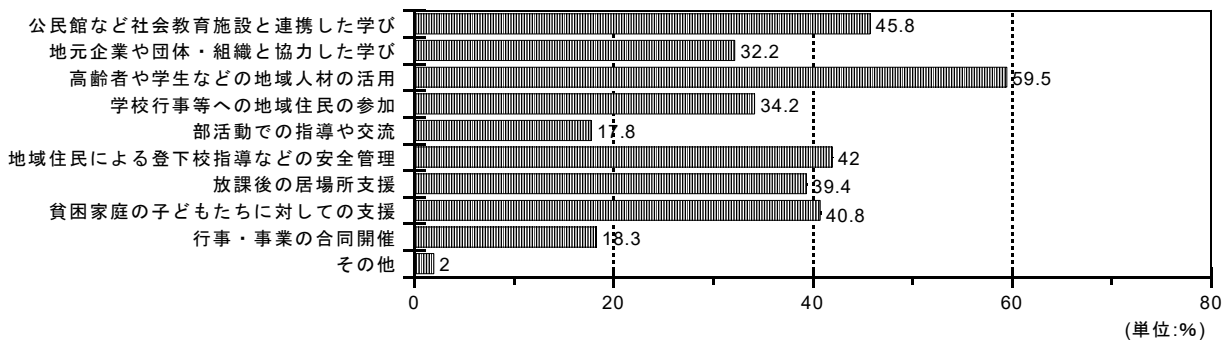


図 37 必要な連携・協働の取り組み

その結果、「高齢者や学生などの地域人材の活用」をあげた人の率が 59.5%でもっとも高く、次いで「公民館など社会教育施設と連携した学び (45.8%)」、「地域住民による登下校指導などの安全管理 (42.0%)」の順となっていた。

これを、性別にみたのが図 38 である。

その結果、男女とも「高齢者や学生などの地域人材の活用」をあげた人の率ももっとも高く、次いで「公民館など社会教育施設と連携した学び」であることは共通していたが、次いで「女性」では「放課後の居場所支援」、「男性」では「地元企業や団体・組織と協力した学び」となっていた。

また、男女で比較すると、「放課後の居場所支援」では「女性」の、「地元企業や団体・組織と協力した学び」では「男性」の率が高くなっていた。

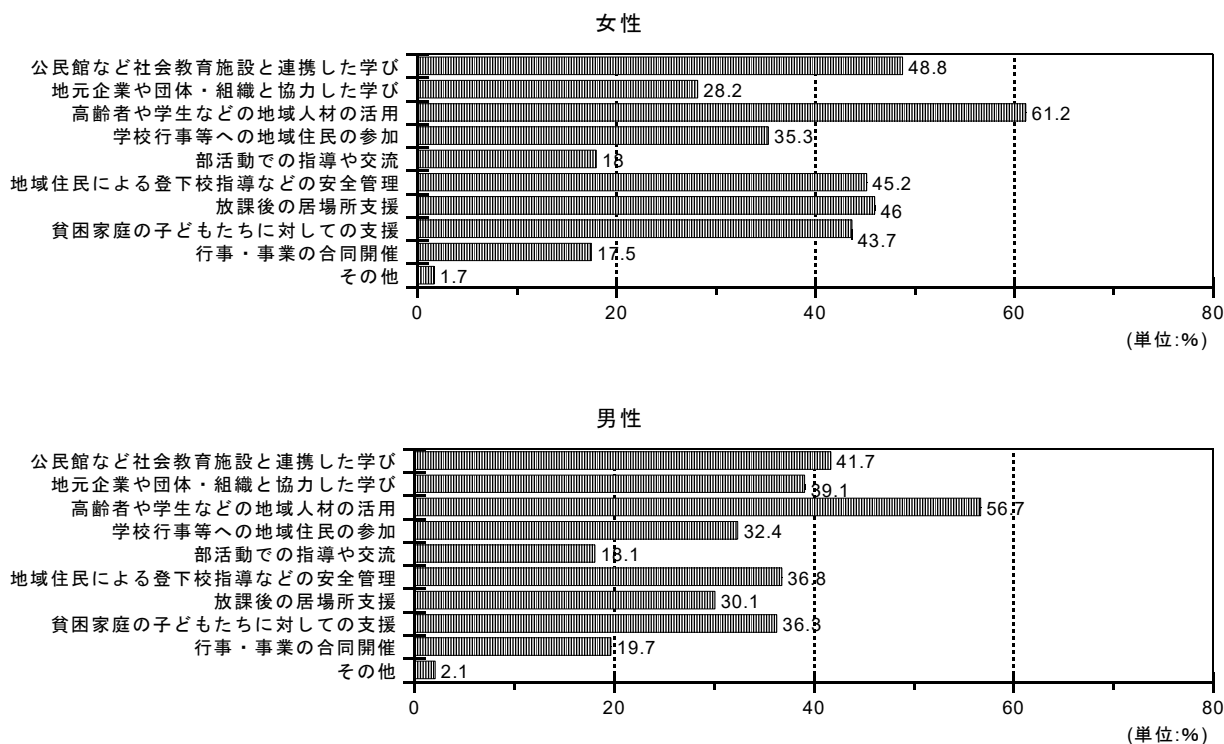


図 38 性別にみた必要な連携・協働の取り組み

次に、年代別にみたのが図 39 である。

その結果、「成人前期」の人では「放課後の居場所支援」をあげた人の率がもっとも高く、次いで「高齢者や学生などの地域人材の活用」、「地元企業や団体・組織と協力した学び」と「地域住民による登下校指導などの安全管理」と「貧困家庭の子どもたちに対する支援」となっていた。「成人中・後期」の人では「高齢者や学生などの地域人材の活用」をあげた人の率がもっとも高いことは共通していたが、次いで「成人中期」の人では「放課後の居場所支援」、「公民館など社会教育施設と連携した学び」、「成人後期」の人では「公民館など社会教育施設と連携した学び」、「地域住民による登下校指導などの安全管理」の順となっていた。

また、年代で比較すると、「放課後の居場所支援」では「成人前期」の人の、「部活動での指導や交流」と「地元企業や団体・組織と協力した学び」では「成人前・中期」の人の、「高齢者や学生などの地域人材の活用」では「成人中・後期」の人の率が高くなっていた。

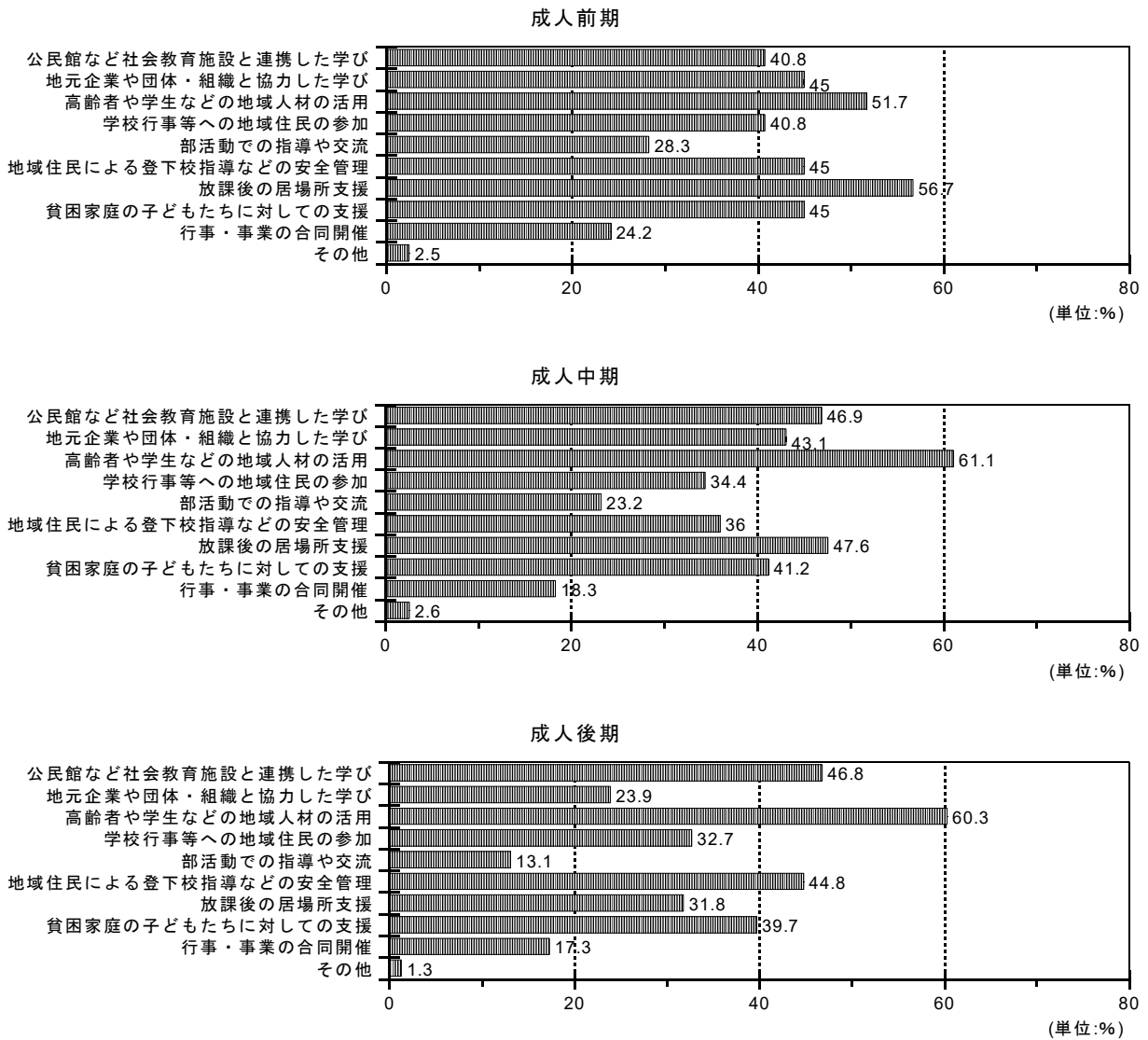


図 39 年代別にみた必要な連携・協働の取り組み

(3) 連携・協働の取り組みへの参加ニーズ

図 40 は、連携・協働の取り組みへの参加ニーズをみたものである。

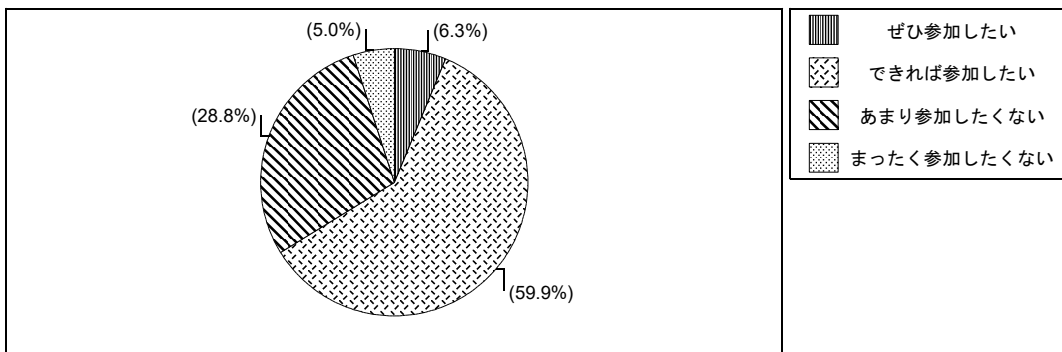


図 40 連携・協働の取り組みへの参加ニーズ

その結果、6.3%の人が「ぜひ参加したい」と回答し、「できれば参加したい（59.9%）」をあわせると66.2%の人が「参加したい」と回答していた。

これを、性別にみたのが図41である。

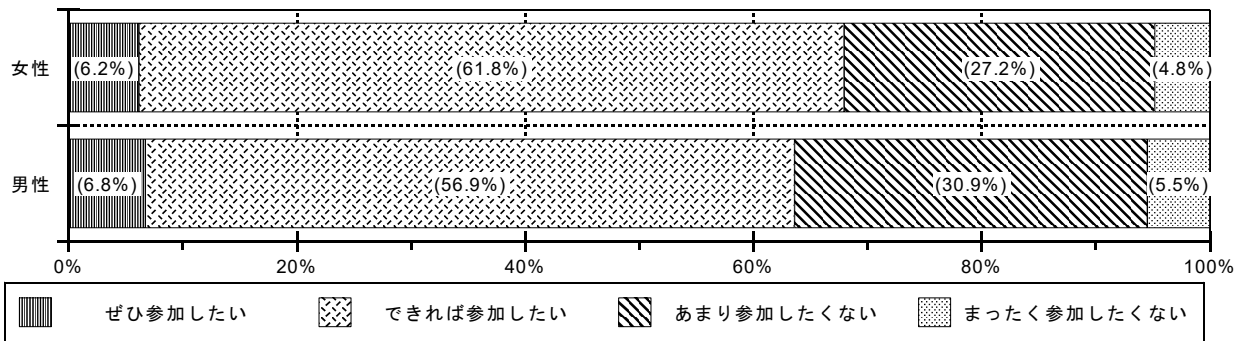


図41 性別にみた連携・協働の取り組みへの参加ニーズ

その結果、「参加したい（「ぜひ参加したい」＋「できれば参加したい」）」と回答した人の率は、「女性」で68.0%、「男性」で63.7%であり、明確な差は認められなかった。

次に、年代別にみたのが図42である。

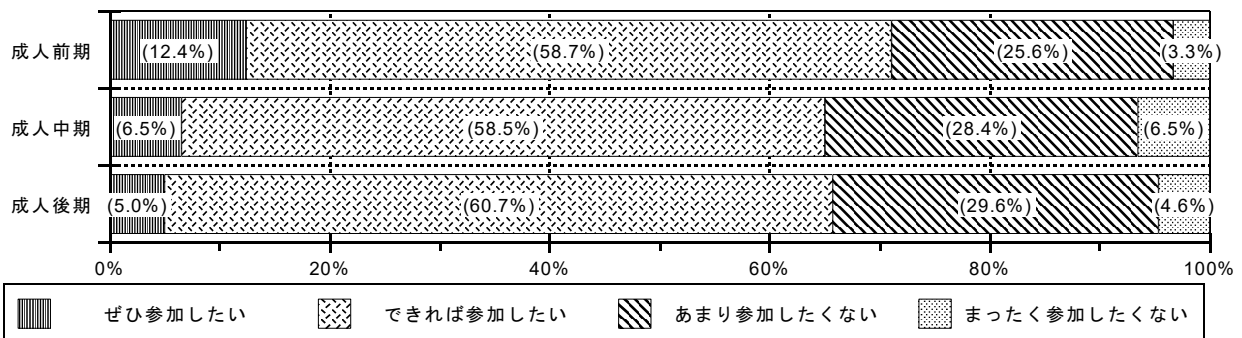


図42 年代別にみた連携・協働の取り組みへの参加ニーズ

その結果、「参加したい（「ぜひ参加したい」＋「できれば参加したい」）」と回答した人の率は、「成人前期」の人で71.1%、「成人中期」の人で65.0%、「成人後期」の人で65.7%であり、明確な差は認められなかった。